

P・T・フォーサイス『キリスト者の完全』の末尾

どうぞ、以上に述べたことを「あなた」の事柄としてください。あなたご自身の具体的な事柄の中で、あなたの腑に落ちるものとしてください。神と共にあって、完全なものとなってください。そうなる時、あなたはきっと、キリストをご自分の胸の内にお迎えすることになるはずです。あなたの家庭の一番良い所へ、キリストをお迎えすることになるはずです。たとえば、居間にある暖炉の前の温かい所へ、キリストをお迎えする。そんな感じです。

どうぞ、「あなた」の所へ、キリストを迎え入れてください。居間の暖炉のように、あなたの魂の中で熱く燃える一点があるはずです。そこには通常「あなた自身」が鎮座していることでしょう。そこを空けて、キリストをお迎えするのはです。そうすることで、あなたは神の魂の内に熱く燃える一点に触れることになります。その「一点」を求めなければなりません。

キリストの臨在を請い求め、どんな時もキリストを思って過ごすべきです。キリストが「あなた自身」を押しつけてくださるまで、求め続けるべきです。今、キリストを信じることは難しいことでしょう。ですから、目標としては、「今信じるのが難しいと思う、その難しさと同じ程度に、信じないでいることが難しくなる」ことを目指してください。その時、私たちは「何のために生きているのか」が明らかになります。

私たちは実に、神によって贖い助け救われるために、神によって創造られたのです。

私たちは完成するべく定められています。そのことを信じる信仰が、私たちをしっかり捉えています。その信仰は、「私たち自身」とは別の何かに支えられた信仰です。

私たちはすでに、潜在的には、贖い助け救われた霊的な状態に引き入れられています。この救いは、必ず私たちのものとなるのです。

私たちの今の霊的な状態は、一つの呪いの中にあります。その呪いは私たちを押さえつけ、自分らしくあることの邪魔をします。しかしその霊的状态の中に、救いは潜在しているのです。

私たちは一本の枯れ枝のようです。それは杖にしか使えなかったものですが、そこに花が咲き乱れます [民数記 17:8]。一つの芽吹きは、次の芽吹きへとつながり、成長の道がずっと伸びて行く。そうして私たちは堂々たる大木へと育って行きます。その大枝の下に人々は暑い日差しからの逃れ場を見出し、その葉を用いて人々は病を癒すようになるのです。私たちの縮こまった心は広げられ、私たちの乾ききった心は潤いを得て、緑の茂る場所のようになります。人生に付きまとう高熱は冷却されます。悩み苛立つ思いは穏やかになります。いのちの力によって、いのちそのものがしっかり立つようになります。人生の希望が再び活力を取り戻します。生活の中に慈しみの思いが豊かに漲（みなぎ）るようになります。

その時、私たちは「自分が何のためにこの世に生を受けたのか」を知るのです。自分自身が思っているよりもずっと、自分は大いなるものであると気づくようになります。そうして私たちは「自分自身」を見出すのです。

その時、私たちの重荷は消えてなくなります。私たちを脅かしている疫病のようなものから、私たちは解放されます。私たちの弱さが強さになります。そうして私たちの敵は逃げ去るのです。

その時、私たちの周りに「約束の地」が広がります。人生の歩みの中には、不安に満ちた場所があったでしょう。その同じ場所が「約束の地」となって、あなたを招くようになるのです。そして、私たちに付きまとう全ての事柄は、キリストを通して、「神の完全さ」へと戻って行きます。つまり、それぞれの事柄は、私たちから引き出されるのです。神の完全な御業の中へと組み込まれるべく、引き出されて行くのです。